

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 7年 3月 20日

公表:令和 7年3月 20日

事業所名 ブロッサムジュニア徳島北教室

		チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	1	法令を遵守したスペースを確保し支援にあたっているが、イベント等により利用者が多い日には、時間帯を分け活動を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1	0	配置数が適切となるよう勤務状況に応じ適切に配置しています。	適切な人員を配置しているが、送迎の時間帯など人員が少なくなるため増員を検討します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	0	日々の利用状況を職員全員が把握し、個々の児童に応じた配慮を行っている。	保護者の方や、相談支援専門員などの意見を聞き環境を整備していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	0	日々の療育を振り返り、改善につなげるようミーティングを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0	保護者の方の意見を把握し業務内容の改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	0	インターネット上で公表を行っています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	8	第三者による評価は行っていません。	今後必要に応じて実施を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	1	内部研修を行い支援の質の向上に努めています。また、外部研修が受けられるように調整を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	利用開始までに面談を行い、児童の状況・課題・保護者の方のニーズなどを把握し個別支援計画の作成を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	0	事業所でアセスメントシートを作成しアセスメントを行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	2	職員ミーティングを行い様々な意見の中から個々の児童に合った支援内容を考えています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	1	季節ごとの制作活動を入れるなどし、プログラムが固定化しないように工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	2	個々の児童の状態の把握を行い状況に応じた支援を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	個別活動での支援を集団活動の中でいかせるように計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	1	朝礼時にその日の支援の内容や分担について確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	3		現在時間的に余裕が無いが、今後検討していきたい。現在はまとめて朝礼時に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	1	日々の活動の記録をとり、情報を共有し、支援の質の向上に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	0	定期的にモニタリングを行い、必要があればその都度内容を見直すよう心がけています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	2	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	0	児童発達支援管理責任者が参加・対応するようにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	0	イレギュラーな対応が必要となる場合などには学校と連絡調整を図っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	2	当施設での医療的ケア児の受入れは設備的に難しい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	1	必要に応じて、保育園や小学校等への訪問を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	1	まだ利用者で移行の実績は無いが今後そのような場合には対応していきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	1	併用の児童発達支援センターへの訪問や、関係機関の方との面談を行い連携を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	0	7	個人情報の兼ねいもあり難しい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	3	参加が可能な場合には参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	0	送迎時に保護者の方とお話しするように心がけていますが、時間がない場合にはHUG上でのやり取りを行っています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	3		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	0	契約の際に対面で説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	0	保護者の方の状況に応じて可能な場合には話しをしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0	6		今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	1	現在会報は発行していませんが、日々の活動の記録に写真を載せ活動について報告しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	1	個人情報については、鍵付き書庫に保管し厳重に管理されています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	1	それぞれの障がいの特性を把握し対応するように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	6		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	2	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	2	実際に避難場所まで徒歩で移動するなどし、災害時を想定した訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	虐待防止研修を受講している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	2	身体拘束は行っていないですが、活動について子どもの安全確保のための行動制限が必要な児童に関しては事前に保護者の方に説明し、了承を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	1	契約の際のアレルギーの情報を聴き取り、必要に応じ、おやつやお弁当を持参してもらうなどの対応をとっています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	2	ヒヤリハットがあった場合には書面を作成し情報共有を行っています。